

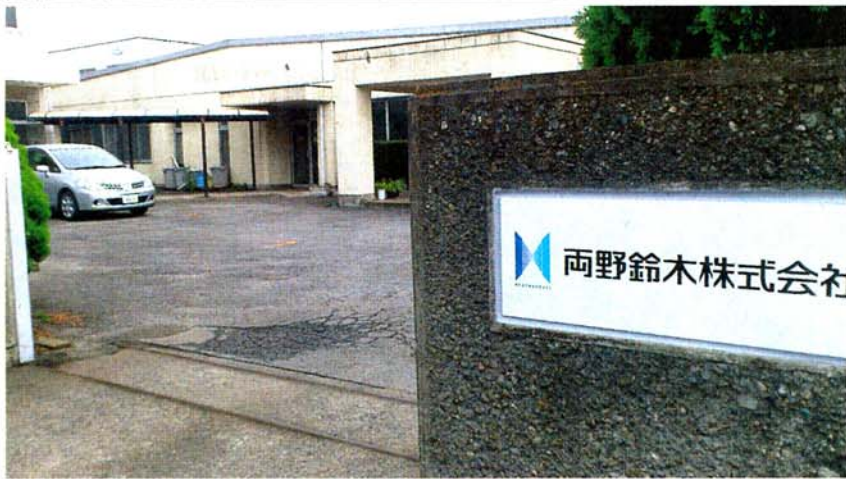
# 宇都宮・創業120年の両野印刷

## 鈴木印刷に事業譲渡

### 従業員24人の雇用継続

フリーペーパー「トリチペ」を印刷、発行する鈴木印刷グループ（宇都宮市平出町）は7日までに、創業120年の両野印刷（宇都宮市瑞穂3丁目）の印刷事業を全面的に譲

り受けた。両野印刷は後継者不在で、年頭から譲渡先を探していた。従業員24人の雇用は継続される。



両野鈴木の瑞穂野事業所＝宇都宮市瑞穂3丁目

鈴木印刷グループは、鈴木印刷（鈴木晴久社長）とトチペを發行するカレンテックスなどで構成。事業拡大

を検討しているところ。事業譲渡の打診を受け、引き受けた。5月に子会社化したイビジイビ印刷が両野印刷の事業を譲り受け、1日付で両野鈴木（宇都宮市問屋町、鈴木晴久社長）として事業を始めた。

などを行っていく。鈴木印刷は1938年創業。トチペをはじめ各種印刷物の印刷やホームページ制作などを手掛ける。2013年3月期の売上高は約5億5千万円。

両野印刷は1893年に足利市で創業。1979年、宇都宮市に本社を移転した。帳票（伝票類）印刷に定評がある。

同社の長社長が78歳となり、年初から事業譲渡を検討。メインバンクの足利銀行に相談した結果、鈴木印刷と庫の会長を務める。（中野勲）

譲渡額は非公表。両野印刷の従業員と印刷技術、取引先などを引き継ぐ。鈴木社長は「両野印刷は歴史ある企業。当面はこれまでの営業スタイルを変えずにやっていく。将来的には瑞穂野事業所に工場を集約して生産力を上げ、事業拡大していきたい」と話している。

両野印刷は同日、両野（宇都宮市瑞穂3丁目、長雄二社長）に社名変更、不動産管理

# 鈴木印刷が両野買収

## 後継者不在で事業承継

栃木県内を地盤とする印刷業の鈴木印刷（宇都宮市）は同業の両野（同）を買収した。両野は後継者が不在のため、印刷事業の譲渡先を探していた。鈴木印刷は業容拡大を狙い、両野の持つ印刷技術や取引先などに着目。9月30日付で両野の事業を譲り受けた。この事例にならい、北関東3県でも後継者難を理由とするM&A（合併・買収）が広がりそうだ。

鈴木印刷は買収に伴い、完全子会社であるピイジイピイ印刷（同）の社名を10月1日付で「両野鈴木」に変更した。両野鈴木が両野の事業を譲り受け、存続会社となる。買収額は非公表。

鈴木印刷は通常の印刷のほか、ホームページの製作や2次元バーコード印刷などデジタル事業にも力を入れている。一方、両野は伝票印刷に強みがあり、鈴木印刷は事業の相乗効果があると判断した。両野の従業員は両野鈴木に入社した。

両野は後継者不在という事業承継の問題を抱え、取引先の足利銀行に相談していた。M&Aは足利銀が仲介。両野は鈴木印刷グループに入ることで事業存続へメドをつけた。鈴木印刷は2013年3月期に約8億円だったグループ売上高を、14年3月期には10億円超へ引き上げたい考えだ。